

基町資料室第6回企画展

基町写真展 2025

7.19 Sat.-8.9 Sat.

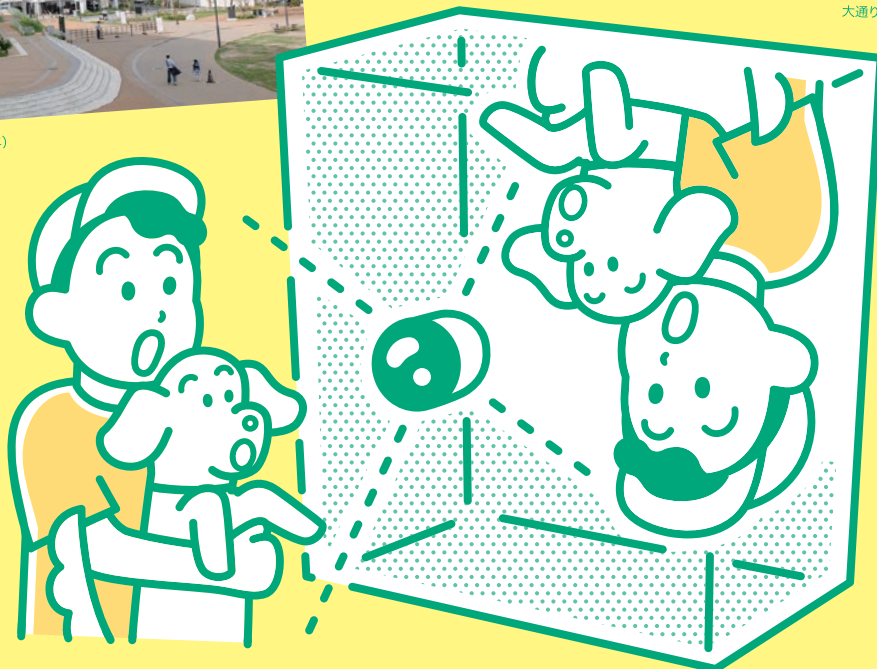
光とレンズが映し出す、
基町の記憶と未来の風景



上の写真とおおよそ同じ位置から撮影。(2025年/令和7年)



ファミリープールから基町地区に向けて、路線バスが通れるほどの大通りがありました。(1971年/昭和46年)



巨大な光学装置
カメラ・オブスクラ体験

12:00—17:00 月、火、水は休場 入場無料

会場 | ひろしまスタジアムパーク HiroPa PARK STUDIO 2 広島市中区基町15番 1

サテライト会場 | 基町資料室 インフォメーション | 基町プロジェクト活動拠点 M98 広島市中区基町16番 17-2-103

主催 | 基町プロジェクト(広島市立大学・広島市中区役所)

協力 | 基町地区社会福祉協議会、基町連合自治会、もとまちエルモ、広島大学宇宙科学センター 川端弘治、

HiroPa(ACTIVE COMMUNITY PARK(NTT都市開発、
NTTアーバンバリューサポートなど))

基町プロジェクト
M98



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University



光とレンズが映し出す、基町の記憶と未来の風景

2015年から始まった基町プロジェクトの写真展は、基町地区に暮らす人々や関係者から寄せられた懐かしい写真をもとに、これまでに5,000枚以上の記録を地域と共に蓄積してきました。写真を通してまちの過去をたどり、現在を見つめ、未来へのまなざしを育てる営みとして継続して開催しています。

2025年、被爆80周年という大きな節目を迎える本年の展示は、基町住宅地区を離れ「ひろしまスタジアムパーク HiroPa」を会場に開催します。人びとの日常と観光が交差する開かれた広場に、光とレンズによって基町の記憶が映し出され、広島というまちのこれからと呼応します。

会場では、地域の生活と都市の変遷をとらえた写真に加え、小型カメラ・オブスクラで子どもたちが撮影した作品や、自然光によって風景を投影するカメラ・オブスクラなど、記録と体験が重なる展示を展開。建築模型や年表といった視覚資料もあわせて、基町という場所が重ねてきた時間と記憶を、来場者が多角的に感じ取れる構成としています。

写真は、過去を残すためのものではなく、未来を想像するための装置でもあります。基町というまちの一角から、広島全体へと開かれつつあるこの企画が、あらたな視点とつながりを育むきっかけとなることを願っています。



夏真っ盛り、木造の団地に住む子どもたちが集まりました。記念に一枚。(1961年／昭和36年)



高層アパート建設中。中層の「スターハウス」、川沿いには木造住宅が並んでいます。(1971年／昭和46年)



子ども会・球技大会の様子です。今も昔も中央公園はスポーツで大賑わい。(1985年／昭和60年)

関連イベント

① 基町写真展ミニトワイイベント

7月31日(木) 14:00—15:00

会場：PARK STUDIO 2(展示会場)

写真を見ながら展示の背景を紹介します。途中参加もOK。希望者には「基町資料室」も案内します。



申込不要

詳しくは
WEBサイトへ
掲載

② 大きなカメラでスタジアムを映そう！

8月2日(土) 13:00—16:00

会場：ひろしまスタジアムパーク芝生ひろば

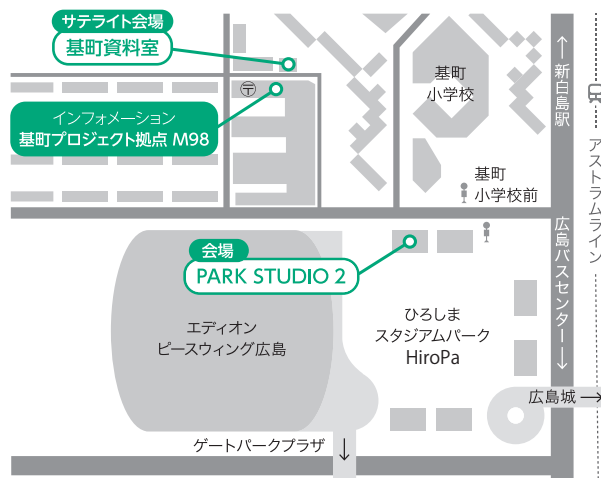
巨大な光学装置「カメラ・オブスクラ」を展示室から屋外へ。スタジアムパークの広場に、さかさまの風景が立ち上がります。

雨天時は
翌週に延期

アクセス

専用駐車場がございませんので、公共交通機関でお越しください。

- 電車で JR新白島駅南口改札より徒歩15分
- アストラムラインで アストラムライン城北站より徒歩10分
- バスで 広島バス23号線及び23-1号線横県線
【横川駅／八丁堀方面より】 基町小学校前下車、徒歩1分



写真募集について

お問合せ

写真や地図などを地域資料として保存・活用しています。ご賛同いただける方は、下記のお問合せ先まで、お気軽にご連絡ください。

基町プロジェクト活動拠点 M98(木～日12:00—17:00) 電話:082-555-8250 メール:motomachiproject@gmail.com
広島市立大学地域共創センター(082-830-1764、平日) 広島市中区役所地域起こし推進課(082-504-2546、平日)